

友朋会理念 『患者さんのために』



contents

アートセラピー美術館祭の懇親会にて

- 1 目次
- 2~3 アートセラピー美術館祭
- 4~5 創立52周年記念式典・合同慰霊祭
- 6 地域連携室通信・新任医師紹介
- 7 地域リハネット認知症研修会・九州精神医療学会
- 8 理念・診療科の紹介及び診療担当医師一覧表

第19回 アートセラピー美術館祭を 開催しました！

平成29年3月4日(土)にアートセラピー美術館祭を開催しました。今回は、前年度に引き続いて地域の皆様を対象として、友朋会で取り組む芸術療法を体験して頂けるよう、7種目のワークショップを準備しました。嬉野市報での開催告知や地域でのポスター掲示、イベントチラシの製作・配布など、実行委員会のメンバーが中心となって広報活動に取り組んだところ、地域住民の皆様や嬉野高校の生徒の皆様・市内小学校の先生方など、総勢64名の方に参加頂くことができました。

ワークショップでの芸術療法体験では、初めての参加で多少緊張された方もありましたが、時間の経過とともに緊張はほぐれ、オリジナル作品の制作や他に参加頂いた方との会話などを楽しんでおられる様子でした。また、嬉野市長の谷口太一郎様にも来院して頂き、地域の皆様が各ワークショップで芸術療法を体験している様子を見学して頂くことができました。

ここでは、各ワークショップの内容と参加頂いた皆様からの感想をご紹介します。

○陶芸療法

陶土や紙粘土での制作を体験して頂き、陶芸療法の意味や役割について説明させて頂きました。参加頂いた方より「陶芸体験は初めてで不安だったけど、自分なりの焼き物ができてよかった」などのご意見を頂きました。制作された作品は、焼き上げて後日参加頂いた方へお渡しすることになっております。



○認知症現場での陶芸療法

陶芸活動を体験して頂き、作ることの楽しさを感じて頂きました。また、職員が認知症役と職員役に分かれて、陶芸療法場面を実演し、参加頂いた方にもクイズ形式で参加して頂きました。「陶芸に興味があったが体験する機会がなく、体験できてよかった」などのご意見を頂くことができました。



○絵画療法

マンダラぬりえという万華鏡のような模様のぬりえ作品の制作を体験して頂き、制作後は額に入れて作品を並べ、全員で作品を見ながら感想を共有しました。「自由にいろいろな表現ができて楽しかった」、「自分にもできて嬉しかった」などのご意見を頂き、全体を通して絵画療法の良さを体験して頂くことができました。



○音楽療法

2人1組に分かれて「ジェスチャー音当て」を行い、その後2グループに分かれて「音絵創作・発表」を体験して頂きました。「言葉がなくても音楽や楽器で相手に伝えることができるようになった」などのご意見を頂くことができ、職員にとっても音楽の効果を実際に目の当たりにできる良い機会となりました。



○連句療法

2グループに分かれて連句創作の体験をして頂きました。連句は初めてという方がほとんどでしたが、「不安より終わった後の充実感が大きかった」、「みんなで作り上げることができて、楽しかった」などのご意見を頂くことができ、作品を作る楽しさや他者と一緒に作り上げる楽しさなどを感じて頂くことができました。



○クラフト療法

2種類のクラフトを準備し、参加頂いた方にどちらか一方を選んだ上で制作して頂きました。「難しすぎず、誰でも取り組めた」、「身近な品が素敵に変化するところが楽しかった」などのご意見を頂くことができ、素材を選ぶことや制作することの楽しさ、作品を仕上げることの達成感を味わって頂きました。



○コラージュ療法

自己紹介を兼ねたウォーミングアップとして「ひな祭りコラージュ」を行った後、「タンブラーコラージュ」の創作を体験して頂きました。「同じ箱の中から選んでいるのに、みんなそれぞれ個性があって楽しかった」などのご意見を頂くことができました。完成したタンブラーは日常生活の中で活用して頂けるよう、お持ち帰り頂きました。



また、ワークショップ終了後は参加頂いた方を対象として、立食形式の懇親会を行いました。お食事、バイオリン、ピアノ演奏、面浮立クラブの踊りをお楽しみ頂きながら、ワークショップ体験の感想や芸術療法などについて意見交換をする機会となり、「料理の種類がたくさんあり、おいしかった」、「演奏を生で聴く機会が少ないので、楽しくすごすことができた」、「他のワークショップに参加された方とも話ができて、とても良い時間だった」などの嬉しいお言葉を多数頂くことができました。

今回のアートセラピー美術館祭は、想定していた定員を上回るお申し込みを頂き、多くの地域の皆様にご参加して頂いたイベントとなりましたが、大きなトラブルもなく無事終了することができました。イベント開催に当たり、多くの皆様のご支援・ご協力を賜ることができたことに対しまして、心より感謝申し上げます。今後も、イベント開催などを通して地域の皆様に芸術療法をはじめとした友朋会の取り組みについて知って頂けるよう、努めて参りたいと思います。

アートセラピー美術館祭実行委員会 運営委員長 正司 吏臣

創立52周年記念式典

平成29年4月1日(土)に当会の創立52周年を記念して式典を開催致しました。

当会において年間を通して最も重要なイベントの一つです。

嬉野市市長 谷口様をはじめ多くのご来賓の方々にご出席いただき、ご祝辞やお祝いのお言葉を頂戴しました。

また、永年勤続職員(10年勤続、20年勤続、30年勤続)が表彰を受賞し、勤続15年の意見発表においては、当会の歴史と発表を行う職員それぞれの15年間を重ね合わせて意見を述べられていました。



中川理事長挨拶



永年勤続の表彰



富松副院長挨拶



勤続15年の意見発表



新入職員の皆さん



会場風景



30年勤続の皆さん



20年勤続の皆さん



10年勤続の皆さん



勤続15年意見発表の皆さん



国家資格取得者の皆さん

合同慰霊祭



3月1日(水)13:30から合同慰霊祭を執り行いました。

平成28年1月1日から12月31日までの間にお亡くなりになられた143名のご冥福をお祈りし黙とうならびに献花を捧げました。

中川理事長、白川師長から火災予防の取り組みをお話しいただきました。



地域連携室通信

梅雨の季節となりました。

今回の連携室通信は新年度より精神科地域連携室に配属となった新入職員のご紹介です。



精神保健福祉士の吉村佳祐です。

本年度より友朋会に就職し、精神科地域連携室にて勤務させて頂く事になりました。

出身大学は西九州大学です。この春卒業致しました。

魚釣りや体を動かすことが好きな(自称)アウトドア派です。

ソーシャルワーカーとしても社会人としてもまだまだ未熟ですが、いち早く現場で活躍できるように、上司、先輩方に教わりながら若さを生かして積極的に頑張っていきますので、宜しく願い致します。

😊 新Dr.の紹介

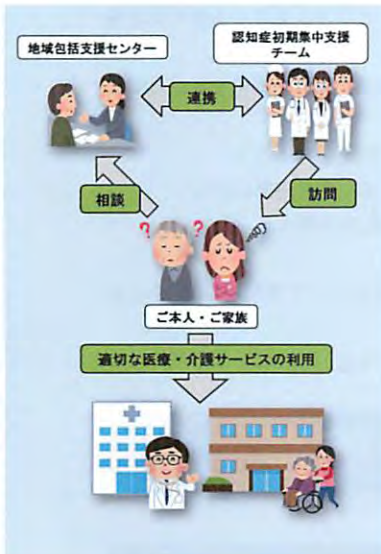
精神科医 小嶋亮平

4月1日付で精神科医として赴任しました小嶋と申します。昨年4月に佐賀大学精神科に入局し、1年間佐賀大学に勤務しました。精神科は2年目に入ったばかりで、至らない点など多々あると思いますが、よろしくをお願いします。

最近ダイエットも兼ねて走り始め、そのことを創立記念式典の自己紹介の場で話したら、30分後にRUN舞から勧誘があり、数時間後には入部しました(笑) 来年3月の桜マラソンで完走するのが、1年間の目標です！



第6回佐賀県かかりつけ医認知症対応力向上研修会 第30回 鹿島・藤津地域リハネットワーク研修会



今回、認知症疾患医療センター主催で開催された「第6回佐賀県かかりつけ医認知症対応力向上研修会」、「第30回 鹿島・藤津地域リハネットワーク研修会」に講師として参加致しました。約168名の参加があり、その内、医師は17名と今までにない多さということでした。内容としては、平成28年10月から始動している認知症初期集中支援推進事業についての概要説明、ならびに訪問の現状や課題についてお伝えしました。認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けるという事業目的に沿って活動していきたいと思います。後半は、当院にある認知症疾患医療センター 松尾勝久センター長から「医療従事者のための認知症診断」についての講義があり、診断が難しい事例の紹介としてCT画像を交えた内容に私自身も学ばせて頂く部分が多くありました。

最後に、運営に携わって頂いたスタッフの方々に感謝申し上げます。

認知症初期集中支援チーム 作業療法士 佐々木裕志

第62回 九州精神医療学会に参加して

昨年の12月1日・2日に沖縄県宜野湾市で開催された、第62回九州精神医療学会に参加させて頂きました。特別講演や合同シンポジウムなどに加えて、5つの会場に分かれて249題の口演発表が行われ、2日間盛りだくさんの内容で大変勉強になりました。

私自身も2日の午後に「精神科急性期治療病棟における退院支援の課題」の演題で 口演発表を行いました。緊張感はありましたが、自信を持って発表を行うことができました。今後の課題の一つとして、精神科急性期治療病棟と地域生活支援科との密接な連携強化が必要だと考えています。患者さんの入院時から退院に向けて、



治療に関わるスタッフがより共通認識を持ち、患者さんが住み慣れた地域や自宅にて安心して生活が送れるよう今回の研究で得た結果を基に、支援を行っていききたいと思います。

ちなみに夜は、一緒に学会に参加したスタッフと沖縄料理を堪能することができました。

今回、学会の場での発表という貴重な経験をさせて頂き本当にありがとうございました。

西5病棟 前田 和也

友朋会理念 『患者さんのために』

基本方針

- 1 患者さん一人ひとりの立場になって、提供すべき医療を考え、実践する
- 2 在宅での生活を目指した医療・看護・介護・リハビリ・福祉を実践する
- 3 創設時から継続されている退院支援・生活支援・就労支援の更なる充実のために地域包括ケアシステム・地域医療構想の視点を加える
- 4 芸術療法的な治療空間・アメニティーを重視し、芸術療法を治療技法として高める
- 5 医療安全対策・感染予防対策・精神科医療事故防止・防災対策・防火対策など総合安全対策体制を確立する
- 6 地域医療機関との連携や役割分担による医療を実践する
- 7 地域において認知症疾患医療センターを軸にリーダーシップを発揮する
- 8 児童思春期精神医療を実践し、地域の子どもの健やかな成長に寄与する
- 9 安全で質の高いチーム医療を実践し、地域の医療・福祉の向上に貢献する
- 10 医療従事者として自己研鑽に精励する

職業倫理に基づく行動指針

- 1 患者さんの自己決定権を尊重する
- 2 患者さんが自己の情報を知る権利を保障する
- 3 患者さんがセカンドオピニオンを求める権利を保障する
- 4 患者さんに安全で質の高い医療を提供することに最善を尽くす
- 5 患者さんに医療的な説明を十分に行う
- 6 患者さんに治療に関する同意を確実に得る
- 7 患者さんの「基本的人権」を保障する
- 8 患者さんの尊厳を保つ
- 9 患者さんの終末期医療について理解を深め、その実践に努力する
- 10 患者さんの個人情報を守る

診療科の紹介及び診療担当医師一覧表

*診療時間

◎月曜～金曜

◎午前の部 / 8:30～12:30
(第1土曜 8:30～12:30)

◎午後の部 / 13:30～17:00

※ただし、水曜、金曜の眼科外来は10:00より開始

*休診日

◎第2・3・4・5土曜、日曜、祭日
年末2日、年始3日間

*予約診療

◎待ち時間短縮のため、
予約診療とさせていただきます。

*眼科の診療時間

◎月曜日 午後のみ 13:00～17:00

◎水・金曜日 午前10:00～12:30
午後13:30～17:00

診療科	月	火	水	木	金	土	備考
精神科	新患	吉本静志 中山 享	渡邊 至 松尾勝久 吉本静志 中山 享	渡邊 至 光吉幸次 菅高一博 田中邦宏	富松眞之 田中邦宏 松尾勝久 三根禎行 前田直子	奥 栄作 三根禎行 松尾勝久	
	再来	富松眞之 松尾勝久	奥 栄作 田中邦宏 前田直子	吉本静志 中山 享	中山 享	三根禎行 渡邊 至 菅高一博	予約者のみ
	専門外来	精神科一般、ものわずれ、児童思春期、 うつ病メンタルヘルスなどご希望が ありましたら、ご相談ください。					
内科	口石櫻子	竹下吉明	岡本純明	林原歳久	榎真佐史	非常勤医師	
泌尿器科	倉富一成	江原 孝	倉富一成	江原 孝	倉富一成	予約者のみ	午後は事前連絡
眼科	崎戸晶子 (13時～)		崎戸晶子 (10時～)		崎戸晶子 (10時～)		(月) 午後 13:00～17:00 (水・金) 午前 10:00～12:30 午後 13:30～17:00



医療法人財団 友朋会

〒843-0301
佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1919
電話:0954-43-0157
FAX:0954-43-3440
E-mail:info@yuhokai.com
URL:http://www.yuhokai.com/



- 嬉野温泉病院 0954-43-0157
- 認知症疾患医療センター 0954-43-0003
- リハビリセンター「ほほ笑み」 0954-43-0194
- ゆうほう会 通所リハビリ 0954-43-0233
- 介護老人保健施設 朋寿苑 0954-42-2900
- 友朋会介護サービスセンター 0954-20-2531
- グループホーム 千寿荘 0954-43-0157
- 就労支援センター「希望」 0954-43-0249
- 地域連携室 0954-43-0255
- 小規模多機能ホーム「孝心の里」 0954-43-7550
- ものわずれメンタルクリニック 092-534-5151
〒815-0082 福岡市南区大橋 2丁目15-28